



2022 年 10 月 吉日

会員 各位

法人会費改定について（お知らせ）公益財団法人 財務会計基準機構
理事長 林 田 英 治

平素は、当財団の運営にご支援・ご協力を賜り、誠に有難うございます。

ご高承のとおり、弊財団は、本年 7 月、資本市場関係者のニーズに対応するため、弊財団内に「サステナビリティ基準委員会 (SSBJ)」を設置し、活動を開始しておりますが、今後、これに伴う活動費用の増加及び国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) が行う基準開発への貢献のための IFRS 財団に対する追加的な資金拠出が見込まれます。

当財団では、今年度、季刊誌「季刊会計基準」の廃止及び各種セミナーの Web 化等、コスト削減に努めてきており、今後、さらなる経費圧縮及び特定資産の取崩し等により対応する所存ではございますが、それでも見込まれる将来にわたっての財源の不足への対応及び将来に向けての安定的な活動継続のため、本年 10 月 5 日に開催した理事会において、下記のとおり、プライム市場の会員様を対象とした法人会費の改定が決議されました。

プライム市場上場会社の会員様には、新たなご負担をお願いすることとなりますが、我が国及び国際的なサステナビリティ開示基準の開発活動の重要性に鑑み、何卒ご理解賜るとともに、今後とも変わらぬご支援くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 改定時期	2023 年度(2023 年 4 月～2024 年 3 月)の会費より
2. 新たな法人会費	プライム市場上場会社の法人会員 一口 50 万円 上記以外の法人会員 一口 30 万円

(2023 年度の請求書は、例年通り、2023 年 4 月に発送させていただく予定です)

以 上

【ご参考（プライム市場会員の会費を見直すこととさせていただいた背景）】

本年４月に東京証券取引所において市場区分の見直しが行われ、新しく設置されたプライム市場は、多くの機関投資家の投資対象になりうる規模の時価総額（流動性）を持ち、より高いガバナンス水準を備える企業向けの市場と位置付けられております。また、「グローバルな投資家との建設的な対話」がプライム市場のコンセプトとなっております。

こうしたプライム市場の上場会社は、東京証券取引所のコーポレートガバナンスコードにおいて、TCFD 又はそれと同等の国際的枠組みに基づく気候変動開示の質と量を充実させることが求められる等、サステナビリティに関する開示への取組みについて、他の市場よりも高い姿勢が求められております。世界的にサステナブル投資の比重が増加する中、国際的なサステナビリティ開示基準開発への貢献及び我が国の開示制度整備に係る活動は、グローバルな投資家との対話のためのインフラの整備の性格を有していると考えられます。

一方、当財団には、これまで企業規模にかかわらず一律の法人会費について見直しを求める意見が少なからず寄せられておりました。

これらのことを踏まえ、プライム市場上場企業の法人会費を改定することとさせていただきました。

<本件に係るお問い合わせ先>

公益財団法人財務会計基準機構 総務室 会員担当：上山、川島、富永

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-2 富国生命ビル 20 階

TEL:03-5510-2711、e-mail:members@fasf-j.jp